

表ー 1 カザンラク地域活性化の戦略とプログラム

<b>1 エリア戦略 &lt;カザンラクを観光客が様々な楽しみ、発見するエリアにする&gt;</b>	
1.1 「バラとハーブ」重視のエリア・プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 春から秋まで様々なバラとハーブを楽しめるエリアにする</li> <li>* すべての公園と庭にバラとハーブを咲かせる</li> <li>* 愛好家とともにバラとハーブのガーデニングを学び楽しむ</li> <li>* バラ研究所・博物館を魅力的な「バラとハーブ」の“コア”にする</li> </ul>
1.2 「歴史遺産と伝統」重視のエリア・プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 歴史遺産を巡るネットワークを整備し、歴史を楽しく学べるエリアにする</li> <li>* 歴史遺産と伝統のボランティア・ガイドを養成し、来訪者との交流を深める</li> <li>* 歴史的建物を修復・保存し、魅力的な町並みを復活させる</li> <li>* イスクラ歴史博物館をカザンラクの「歴史遺産と伝統」の“コア”にする</li> </ul>
1.3 「農村滞在型ツーリズム」重視のエリア・プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 経験と交流の「農村滞在型ツーリズム」の可能性を調査し、モデル事業を開始する</li> <li>* 農村滞在型ツーリズムを効果的にサポートする制度を検討する</li> <li>* 農村滞在型ツーリズムの“コア”を確立する</li> </ul>
1.4 「エリア・ネットワーク」プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 各種の観光資源をもつひとまとまりの観光地域を「テリトリー」として設定する</li> <li>* テリトリー内を「コア」「サテライト」「発見の小道」で結び、多様な発見・楽しみをネットワークする</li> </ul>
<b>2 イベント戦略 &lt;観光客を惹きつけるイベントを開催し、多くの人々にカザンラクを訪れてもらう&gt;</b>	
2.1 知らせるイベント・プログラム（以下は例示）	<ul style="list-style-type: none"> <li>* ジャーナリスト／トラベル・エージェントを招待し、カザンラクをよく知ってもらう</li> <li>* 「バラとバラ油国際会議」などを開催し、カザンラクの知名度を高める</li> <li>* ホームページを開設し、カザンラクから外部に情報を発信する</li> </ul>
2.2 楽しむイベント・プログラム（以下は例示）	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「バラとハーブのガーデニング・フェスティバル」（参加国に常設プロットを提供）を開催する</li> <li>* 「バルカン・フォーク・フェスティバル」を開催する</li> <li>* ワーキング・ホリデイを受け入れ、農村生活の体験機会を提供する</li> </ul>
2.3 通年化のイベント・プログラム（特に、12月から3月まで、以下は例示）	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 手作り「ドライ・フラワー講座」などバラとハーブをテーマにイベントを開催する</li> <li>* 「トラキア歴史講座」など歴史遺産と伝統をテーマにイベントを開催する</li> <li>* 「グリーン・ツーリズム・ビレッジ塾」など農村滞在型ツーリズムをテーマにイベントを開催する</li> </ul>
<b>3 特産品戦略 &lt;地域資源を使ってカザンラク独特の特産品を開発し多くの人々に楽しんでもらう&gt;</b>	
3.1 ツーリスト向け特産品プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>* ツーリストの視点から現在の土産品を見直し、改良する（デザイン・品質・価格など）</li> <li>* 市場ニーズと地域資源を考慮して、新しい土産品を開発する</li> </ul>
3.2 一般消費者向け特産品プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 優れた素材と加工方法で特産品の品質を高め、銘柄化と差別化を図る</li> <li>* 工房見学会を開催し、参加者など特定顧客とのつながりを強める</li> </ul>
3.3 特産品改良・開発支援プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 技術・市場情報・経営に関するサポート体制を整備する</li> <li>* 「特産品コンテスト」など質の高い特産品の開発を奨励する制度を導入する</li> </ul>
<b>4 サービス・人材育成戦略 &lt;人材を育成し、観光客の望む質の高い多様なサービスを提供する&gt;</b>	
4.1 サービス・ホスピタリティ向上プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「観光客・インフォメーション・センター」を常時オープンし、観光客に最新情報を提供する</li> <li>* 外国人観光客が理解できる表示・メニューなどを用意する</li> </ul>
4.2 ツーリスト・ニーズを満たすトレーニング・プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 経営重視のトレーニングから観光客重視のトレーニングに切り替える</li> <li>* 質の高いサービスをめざすトレーニングを実施（トレーナーズ・トレーニング、テキストの一新など）</li> </ul>
4.3 官民協力によるトレーニング体制整備プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 官民協力による「カザンラク・ツーリズム・トレーニング・センター」を開設する</li> <li>* 先進観光地・類似テーマの観光地への研修制度を開始する</li> </ul>
<b>5 インフラ整備戦略 &lt;カザンラクを訪れやすく、快適で安全に滞在できる町にする&gt;</b>	
5.1 情報発信・提供の強化プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 外部の観光客がカザンラク情報を容易に入手し、予約できる情報システムを構築する</li> </ul>
5.2 交通サービスの向上プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 道路を維持管理し改良する（幹線道路、カザンラク内の市と村を結ぶ道路、テリトリー内の発見の小道）</li> <li>* カザンラク市中心部の交通管理・駐車規制を強化する</li> <li>* 公共交通サービス（バス、マイクロバス、タクシー）を利用しやすくする</li> </ul>
5.3 快適で安全な滞在のためのプログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 衛生・医療サービスの向上を図る</li> <li>* 安全・治安の維持・向上を図る</li> </ul>

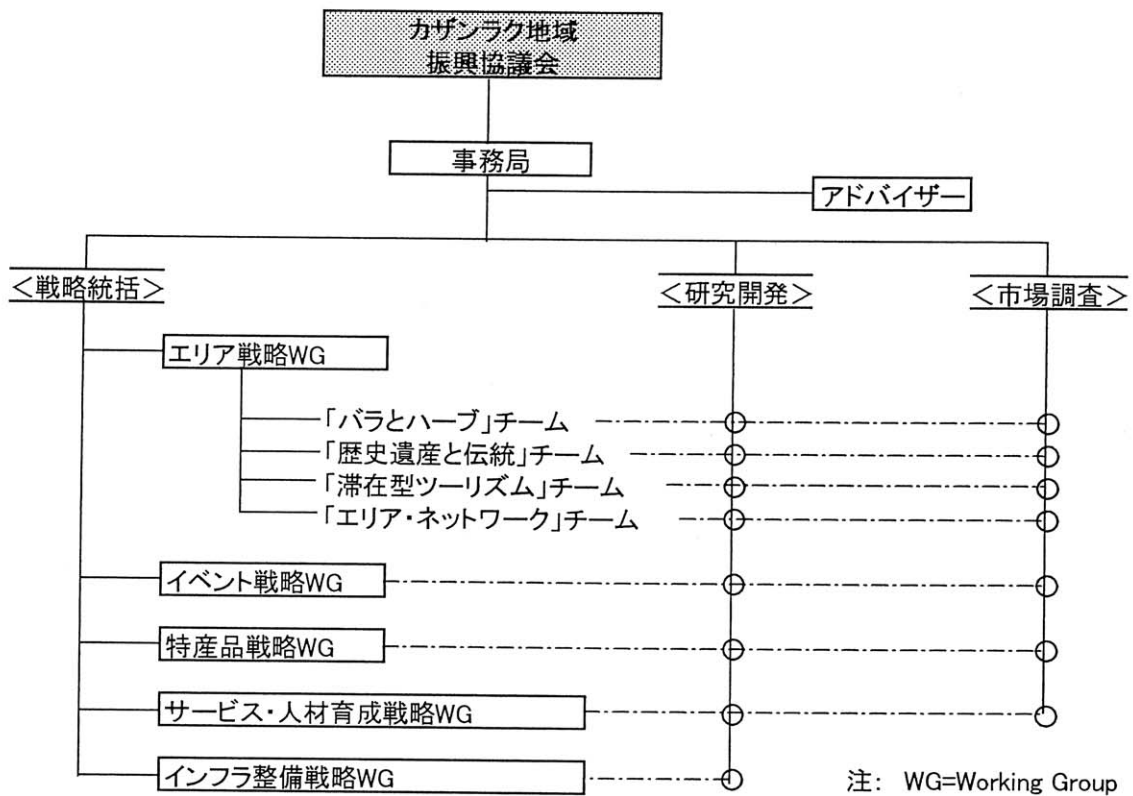
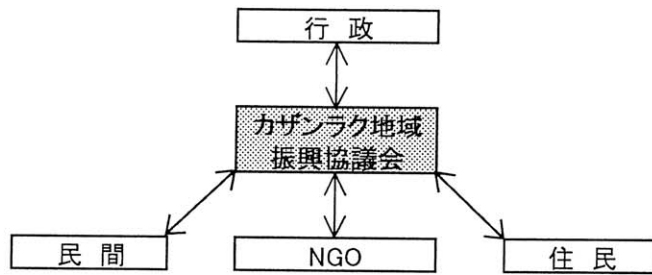


図-2 カザンラク地域振興協議会(仮称)

表ー2 カザンラク・ミュニシパリティが実施する観光振興戦略・プログラムに対するJICAの重点協力分野

戦略・プログラム名	カザンラク側 イニシアティブ	JICAによる 重点協力分野
0.1 カザンラク地域振興協議会(仮称)の設立と運営	◎	
0.2 地域活性化に関する全般的な研修プログラム		◎
1. エリア戦略		
1.1 「バラとハーブ」重視のエリア・プログラム * 春から秋まで様々なバラとハーブを楽しめるエリアにする * 全ての公園と庭にバラとハーブを咲かせる * 愛好家とともにバラとハーブのガーデニングを学び楽しむ <* バラ研究所を「バラとハーブ」の「コア」にする>	◎	◎
1.2 「歴史遺産と伝統」重視のエリア・プログラム	◎	
1.3 「農村滞在型ツーリズム」重視のエリア・プログラム * 「農村滞在型ツーリズム」のモデル事業を開始する * 農村滞在型ツーリズムの「コア」を確立する <* 農村滞在型ツーリズムのサポート体制を整える>	◎	◎
1.4 「エリア・ネットワーク」プログラム(「エコミュージアム」) * 一まとまりの観光地域を「テリトリー」として設定する * テリトリー内を「コア」「サテライト」「発見の小道」でつなぐ	◎	◎
2. イベント戦略		
2.1 知らせるイベント・プログラム	◎	
2.2 楽しむイベント・プログラム	◎	
2.3 通年化のイベント・プログラム * バラとハーブの「ドライ・フラワー講座」等を開催する * 「トラキア歴史講座」等を開催する * 農村滞在型ツーリズムをテーマにイベントを開催する	◎	◎
3. 特産品戦略		
3.1 ツーリスト向け特産品プログラム * ツーリストの視点から現在の土産品を見直し、改良する * ニーズを充たす新しい土産品を開発する	◎	◎
3.2 一般消費者向け特産品プログラム * 特産品の品質を高め、銘柄化と差別化を図る * 工房見学会を開催し、特定顧客とのつながりを強める	◎	◎
3.3 特産品改良・開発支援プログラム	◎	
4. サービス・人材育成戦略		
4.1 サービス・ホスピタリティ向上プログラム	◎	
4.2 ツーリスト・ニーズを満たすトレーニング・プログラム * ツーリスト重視のトレーニングを開始する * トレーナーズ・トレーニング、テキストの一新などを実施する	◎	◎
4.3 官民協力によるトレーニング体制整備プログラム	◎	
5. インフラ整備戦略		
5.1 情報発信・提供の強化プログラム	◎	
5.2 交通サービスの向上プログラム	◎	
5.3 快適で安全な滞在のためのプログラム * 衛生・医療サービスの向上を図る * 安全・治安の維持・向上を図る	◎	◎

注1: カザンラク側はオーナーシップをもって全ての戦略・プログラムを実施する

注2: JICA は重点協力分野を絞り、パートナーとして協力する

注3: < >は JICA 重点協力分野であるが、カザンラク側のイニシアティブに期待するプログラム

注4: 「1.3 農村滞在型ツーリズム」と「1.4 エコミュージアム」は 2004 年から3年間 EU による支援分野に指定されており、EU 支援を得られるよう出来るだけ早期に開始する

表－3 JICA インプットのアウトライン（専門家、JOCV、研修）

0.2 地域活性化に関する全般的な研修プログラム	
<知識・経験>	住民主導による村おこし・町おこし、1村1品運動
<協力方法>	カザンラク地域振興協議会事務局へのアドバイスとメンバーのモチベーション
<協力組織>	カザンラク地域振興協議会
<協力形態>	専門家、研修プログラム(カザンラク、日本)
<成果目標>	「カザンラク地域振興協議会」が設立され、関係者の広い参加のもとに運営される
1. エリア戦略	
1.1 「バラとハーブ」重視のエリア・プログラム	
<知識・経験>	園芸・造園(特に、バラとハーブを重視)
<協力方法>	対象市・村を限定：参加型によるバラ・ハーブの観光シーズン長期化への取組み
<協力組織>	「バラとハーブ」チームとバラ・アロマ研究所
<協力形態>	専門家、JOCV
<成果目標>	バラの多様化・ハーブの導入により多くの観光客を誘致し、シーズンを長期化する
1.3 「農村滞在型ツーリズム」重視のエリア・プログラム	
<知識・経験>	ルーラル・ツーリズム、村おこし
<協力方法>	(対象村を限定)村民のモチベーションと参加型ルーラル・ツーリズムへの取組み
<協力組織>	「農村滞在型ツーリズム」チームと対象村
<協力形態>	専門家、JOCV (EU 支援申請のため早めに開始する)
<成果目標>	村民がルーラル・ツーリズムを理解し、自主的な取組みを開始する
1.4 「エリア・ネットワーク」プログラム(「エコミュージアム」)	
<知識・経験>	エコツーリズム、エコミュージアム
<協力方法>	(1つのテリトリーを設定)参加型による「エコミュージアム」の立案と実施
<協力組織>	「エリア・ネットワーク」チームとテリトリーに含まれる市・村
<協力形態>	専門家、JOCV (EU 支援申請のため早めに開始する)
<成果目標>	関係者が互いに協力してエコミュージアムに取組み、より多くの観光客を誘致する
2. イベント戦略	
2.3 通年化のイベント・プログラム	
<知識・経験>	イベント企画、観光マーケティング
<協力方法>	モチベーションと観光マーケティングを中心とする研修
<協力組織>	イベント戦略WGとエリア戦略WGの4チーム
<協力形態>	専門家、研修(カザンラク)
<成果目標>	イベントの開催により多くの観光客が訪れ、オフシーズンにも観光客が増加する
3. 特産品戦略	
3.1 ツーリスト向け特産品プログラム	
<知識・経験>	1村1品運動、商品開発
<協力方法>	特産品開発へのモチベーションとノウハウの提供
<協力組織>	特産品戦略WG
<協力形態>	専門家、JOCV、研修(カザンラク、日本)
<成果目標>	特産品の改良と開発により特産品販売が増加し、就業・雇用機会が増加する
3.2 一般消費者向け特産品プログラム (上記3.1の協力と併せて実施する)	
<知識・経験>	－3.1に統合して実施－
<協力方法>	－3.1に統合して実施－
<協力組織>	－3.1に統合して実施－
<協力形態>	－3.1に統合して実施－
<成果目標>	－3.1に統合して実施－
4. サービス・人材育成戦略	
4.2 ツーリスト・ニーズを満たすトレーニング・プログラム	
<知識・経験>	観光サービス
<協力方法>	ツーリスト・サービスを重視したテキスト作成とトレーナーズ・トレーニング
<協力組織>	サービス・人材育成戦略WGと観光教育関係組織
<協力形態>	専門家、研修(カザンラク)
<成果目標>	トレーニングの改善により、観光サービスの改善に向けた取組みが増加する
5. インフラ整備戦略	
5.3 快適で安全な滞在のためのプログラム	
<知識・経験>	衛生・安全
<協力方法>	マニュアルの作成・普及と現場チェック・改善指導
<協力組織>	インフラ整備戦略WGと監督部局
<協力形態>	JOCV
<成果目標>	観光客の罹患者数・盗難件数・交通事故件数などが減少する

表-4 専門家および JOCV の業務 - JOCV 中心型 -

- 留意事項: (1) 社会主義の影響により多くの人々が国家への依存心が強く自主性に欠ける  
 (2) 同様に、セクターの縦割りが強く、横の情報がほとんど共有されていない  
 (3) 外部(日本)の経験・情報により人々の意識改革・モチベーションが重要  
 (4) プログラム毎に効果的に協力できる対象を検討・確認することが必要  
 (5) 先方のレベルとニーズに応じるよう「参加型アプローチ」を重視する

## 0.2 地域活性化に関する全般的な研修プログラム

- <知識・経験> 住民主導による村おこし・町おこし、1村1品運動
- <協力方法> カザンラク地域振興協議会事務局へのアドバイスとメンバーのモチベーション
- <協力組織> カザンラク地域振興協議会
- <協力形態> 専門家、JOCV、研修プログラム(カザンラク、日本)
- <成果目標> 「カザンラク地域振興協議会」が設立され、関係者の広い参加のもとに運営される
- <実施業務> (1) カザンラク地域振興協議会および事務局の設立・運営をファシリテートする  
 (2) 協議会および事務局メンバーに村・町おこしの情報提供・研修を行う  
 (3) 成果のモニタリング・システムの確立・運営を支援する  
 (4) 他のムニシパリティに対する情報発信・セミナー等の開催を行う

## 1. エリア戦略

### 1.1 「バラとハーブ」重視のエリア・プログラム

- <知識・経験> 園芸・造園(特に、バラとハーブを重視)
- <協力方法> 対象市・村を限定: 参加型によるバラ・ハーブの観光シーズン長期化への取組み
- <協力組織> 「バラとハーブ」チームとバラ・アロマ研究所
- <協力形態> 専門家、JOCV、研修
- <成果目標> バラの多様化・ハーブの導入により多くの観光客を誘致し、シーズンを長期化する
- <実施業務> (1) 協力対象とする市・村を選定し、参加型の場を形成しファシリテートする  
 (2) 「バラとハーブ」による観光シーズンの長期化施策を参加型により立案・実施する  
 (3) (2)に必要な情報提供・研修を行う  
 (4) モニタリングにより成果を確認し、次の活動にフィードバックする

### 1.3 「農村滞在型ツーリズム」重視のエリア・プログラム

- <知識・経験> ルーラル・ツーリズム、村おこし
- <協力方法> (対象村を限定) 村民のモチベーションと参加型ルーラル・ツーリズムへの取組み
- <協力組織> 「農村滞在型ツーリズム」チームと対象村
- <協力形態> 専門家、JOCV、研修 (EU 支援申請のため早めに開始する)
- <成果目標> 村民がルーラル・ツーリズムを理解し、自主的な取組みを開始する
- <実施業務> (1) 協力対象とする1村を選定し、参加型の場を形成しファシリテートする  
 (2) 農村滞在型ツーリズムに関する情報提供・研修を行う  
 (3) 参加型によりモデル事業を立案・実施すると共に EU による支援事業を提案する  
 (4) モニタリングにより成果を確認し、次の活動・行政による支援策にフィードバックする

### 1.4 「エリア・ネットワーク」プログラム(「エコミュージアム」)

- <知識・経験> エコツーリズム、エコミュージアム
- <協力方法> (1つのテリトリーを設定) 参加型による「エコミュージアム」の立案と実施
- <協力組織> 「エリア・ネットワーク」チームとテリトリーに含まれる市・村
- <協力形態> 専門家、JOCV、研修 (EU 支援申請のため早めに開始する)
- <成果目標> 関係者が互いに協力してエコミュージアムに取組み、より多くの観光客を誘致する
- <実施業務> (1) 協力対象とするテリトリーを選定し、参加型の場を形成しファシリテートする  
 (2) エリア・ネットワーク(エコミュージアム)に関する情報提供・研修を行う  
 (3) 参加型によりテリトリーを立案・実施すると共に EU による支援事業を提案する  
 (4) モニタリングにより成果を確認し、次の活動にフィードバックする

## 2. イベント戦略

### 2.3 通年化のイベント・プログラム

- <知識・経験> イベント企画、観光マーケティング
- <協力方法> モチベーションと観光マーケティングを中心とする研修
- <協力組織> イベント戦略 WG とエリア戦略 WG の4チーム
- <協力形態> 専門家、JOCV、研修(カザンラク)
- <成果目標> イベントの開催により多くの観光客が訪れ、オフシーズンにも観光客が増加する
- <実施業務> (1) 官民を含む参加型の場を形成しファシリテートする  
 (2) 観光客誘致のイベントに関する情報提供・研修を行う  
 (3) 参加型によりイベントを企画し実施する  
 (4) モニタリングにより成果を確認し、次の活動にフィードバックする

---

### 3. 特産品戦略

#### 3.1 ツーリスト向け特産品プログラム

- <知識・経験> 1村1品運動、商品開発
- <協力方法> 特産品開発へのモチベーションとノウハウの提供
- <協力組織> 特産品戦略 WG
- <協力形態> 専門家、JOCV、研修(カザンラク、日本)
- <成果目標> 特産品の改良と開発により特産品販売が増加し、就業・雇用機会が増加する
- <実施業務> (1) 特産品の生産・販売関係者を中心に参加型の場を形成しファシリテートする
- (2) ツーリスト・ニーズを中心に現状の問題点を洗い出し、改善策を立案し実施する
- (3) (2)に必要な情報提供・研修を行う
- (4) モニタリングにより成果を確認し、次の活動・行政による支援策にフィードバックする

#### 3.2 一般消費者向け特産品プログラム (上記 3.1 の協力と併せて実施する)

- <知識・経験> -3.1 に統合して実施-
- <協力方法> -3.1 に統合して実施-
- <協力組織> -3.1 に統合して実施-
- <協力形態> -3.1 に統合して実施-
- <成果目標> -3.1 に統合して実施-
- <実施業務> -3.1 に統合して実施-

---

### 4. サービス・人材育成戦略

#### 4.2 ツーリスト・ニーズを充たすトレーニング・プログラム

- <知識・経験> 観光サービス
- <協力方法> ツーリスト・サービスを重視したテキスト作成とトレーナーズ・トレーニング
- <協力組織> サービス・人材育成戦略 WG と観光教育関係組織
- <協力形態> 専門家、JOCV、研修(カザンラク)
- <成果目標> トレーニングの改善により、観光サービスの改善に向けた取組みが増加する
- <実施業務> (1) 官民を含む観光関係者を中心に参加型の場を形成しファシリテートする
- (2) ツーリスト・サービスに関する情報提供・研修を行う
- (3) 現状トレーニングの問題点を洗い出し、テキストの改定・トレーナーズ研修を実施する
- (4) モニタリングにより成果を確認し、次の研修・行政による支援策にフィードバックする

---

### 5. インフラ整備戦略

#### 5.3 快適で安全な滞在のためのプログラム

- <知識・経験> 衛生・安全
  - <協力方法> マニュアルの作成・普及と現場チェック・改善指導
  - <協力組織> インフラ整備戦略 WG と監督部局
  - <協力形態> 専門家、JOCV、研修
  - <成果目標> 観光客の罹患者数・盗難件数・交通事故件数などが減少する
  - <実施業務> (1) 官民を含む観光関係者を中心に参加型の場を形成しファシリテートする
  - (2) 「快適で安全な滞在」に必要な情報提供・研修を行う
  - (3) 現状の問題点を洗い出し、改善マニュアルを作成配布し、研修を行う
  - (4) モニタリングにより成果を確認し、次の研修・行政による支援策にフィードバックする
-



表-5 JICA 協力内容 (3年間: 2004年4月-2007年3月) -JOCV 中心型-

戦略・プログラム名	JICA 重点 協力	2004年度			2005年度			2006年度		
		専門家 M/M	JOCV M/M	研修 回数	専門家 M/M	JOCV M/M	研修 回数	専門家 M/M	JOCV M/M	研修 回数
0.1 カザンラク地域振興協議会の設立運営										
0.2 地域活性化の全般的な研修プログラム	◎	4	6	8/1	6	6	12/1	4	0 6	8/1 (2次)
1. エリア戦略										
1.1 「バラとハーブ」エリアプログラム * バラとハーブを楽しめるエリアにする * 公園と庭にバラとハーブを咲かせる * バラとハーブのガーデニングを楽しむ * バラ研究所を「コア」に>	◎	3	3.5	6/0	3	6	6/0	3	2.5	6/0
1.2 「歴史遺産と伝統」エリアプログラム										
1.3 「農村滞在型」エリアプログラム * 農村滞在型モデル事業を開始 * 農村滞在型の「コア」の確立 * 農村滞在型のサポート体制>	◎	3	3.5	6/0	4	6	8/0	3	2.5 6	6/0 (2次)
1.4 「エリア・ネットワーク」プログラム * 「テリトリー」の設定 * 「コア」「サテライト」「発見の小道」	◎	3	3.5	6/0	4	6	8/0	3	2.5 6	6/0 (2次)
2. イベント戦略										
2.1 知らせるイベント・プログラム										
2.2 楽しむイベント・プログラム										
2.3 通年化のイベント・プログラム * バラとハーブの「各種講座」の開催 * 「トラキア歴史講座」の開催 * 農村滞在型イベントの開催	◎	2	3.5	4/0	2	6	4/0	2	2.5 6	4/0 (2次)
3. 特産品戦略										
3.1 ツーリスト向け特産品プログラム * 土産品の見直しと改良 * 新しい土産品の開発	◎	4	7	8/0	6	12	12/0	6	5 6	12/0 (2次)
3.2 一般消費者向け特産品プログラム * 特産品の品質向上・差別化 * 工房見学会で顧客とのつながり	◎	- 3.1 に統合して実施 -								
3.3 特産品改良・開発支援プログラム										
4. サービス・人材育成戦略										
4.1 サービス向上プログラム										
4.2 ツーリスト重視のトレーニング * ツーリスト重視のトレーニング * トレーナーズ研修・テキスト新	◎	4	3.5	16/0	6	6	24/0	4	2.5 6	16/0 (2次)
4.3 トレーニング体制の整備プログラム										
5. インフラ整備戦略										
5.1 情報発信・提供の強化プログラム										
5.2 交通サービスの向上プログラム										
5.3 快適・安全な滞在のプログラム * 衛生・医療サービスの向上を図る * 安全・治安の維持・向上を図る	◎	1	3.5	3/0	1	6	6/0	1	2.5	2/0
合計		24	34		32	54		26	56	

注1: 研修回数の左側はブルガリア、右側は日本での研修

注2: 2004年度のJOCVは9月開始と想定(ただし、プログラム・オフィサーは4月開始)

注3: 2004年度のJOCVの担当分野

<第1次JOCV>各人M/Mの1/2を充当 <第2次JOCV>

オフィサー: 0.2/ 連絡調整

オフィサー: 0.2/ 連絡調整

開発計画: 3.1/ 3.2

ルーラル・エコ・ツーリズム: 1.3/ 1.4

観光: 2.3/ 4.

村・町おこし: 3.1/ 3.2

農業: 1.1/ 1.3

観光振興: 2.3/ 4.2

保健: 1.4/ 5.3